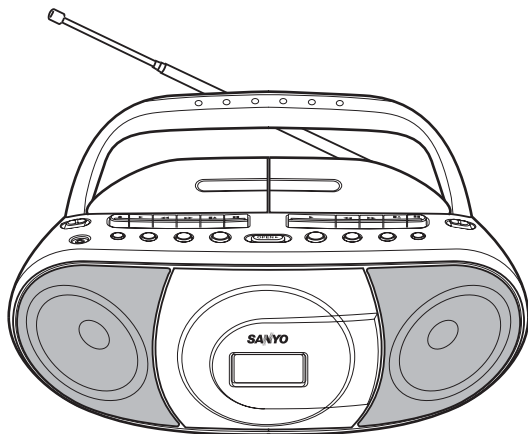
取扱説明書

CDラジオカセットレコーダー
品番 PH-PRW91

保証書付 裏表紙にあります

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は保証書付になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

上記のマークのディスクを再生できます。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

もくじ

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

- 「安全上のご注意」の文中での 「電源を切る」とは**ファンクション**スイッチを「TAPE/電源 切」にすることです。
- 「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の**ファンクション**スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする(異常状態)
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機の内部に水などが入った
- 異物が本機の内部に入った
- 音が出ないなど(故障状態)
- 倒したり落としたりして、キャビネットを破損した

電源プラグを抜く

⚠ 警告

電源について

■電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。

■電源コードを傷つけない

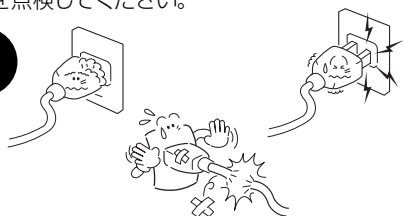
無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

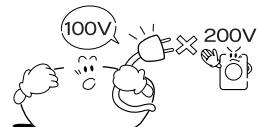
禁　止

電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

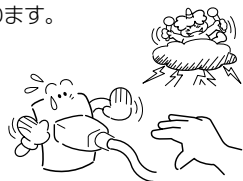
■定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源プラグの間にホコリが付着していないか、電源コードに傷みがないか、電源プラグが抜けかけていないかなどを点検してください。

■電源電圧100V以外や国外では使用しない

表示された電源電圧（AC 100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
また、本機をAC電源で使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

禁　止

■雷が鳴り出したら

電源プラグやアンテナには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

屋外で使用中の場合は、ロッドアンテナをたたんで安全な場所に避難してください。落雷の原因となります。

使用方法・設置

■分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

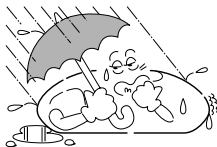
禁　止

はじめに

⚠ 警告

■ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

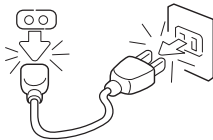
水ぬれ禁止

■異物を入れない

通風孔、ディスクやカセット挿入口などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

禁　止

■乾電池で使用する場合

電源コードはコンセントおよび本機のAC電源端子（AC INPUT～）の両方とも抜いてください。コンセント側が接続されていると火災、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

禁　止

■壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。

ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときの注意

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■本機の上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

⚠ 注意

■設置場所に注意

- じゅうたんやたたみ、塩化ビニール製の床材や家具などの上に設置するときは、下に板などを敷いてください。直接置くと床面が変色することがあります。

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■本機を不安定な場所に置かない

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ディスクやカセット挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

■持ち運びの注意

- ディスクを取り出して、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、外部接続をすべて外してから持ち運びしてください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- ロッドアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びするとロッドアンテナがひっかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。

■スピーカーの前に割れやすいものなどを置かない

スピーカーからの空気圧により倒れたり、落下して、故障やけがの原因となることがあります。

■変形やひび割れしたディスクは使用しない

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ヘッドホンやイヤホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■音量に注意

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■他機器との接続について

オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

■電磁波の発生する機器に近づけない

禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけない。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■レーザー光を見ない

禁　止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

禁　止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

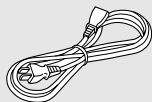
■長期間（1ヶ月以上）使用しない場合やお手入れの際の注意

電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

付属品をお確かめください

電源コード（約1.8m）……1

本書（保証書付）…1

ご注意

本製品に付属の電源コードは、本製品以外の機器に使用しないでください。

■乾電池使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の乾電池は使用しない。
- 極性（⊕と⊖）に注意し、表示通りに入れる。

禁　止

- 種類の異なるものや、新旧の乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。

- 長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

著作権について

- 放送やMD、DVD、CD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。また、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）におたずねください。

JASRAC本部：TEL.　03-3481-2121
FAX.　03-3481-2150
URL　http://www.jasrac.or.jp/

各部のなまえ

つづく

ラジオ/共通部

テープ部

テープA

カセットぶた

録音ボタン(●)

再生ボタン(▶)

巻戻しボタン(◀◀)

早送りボタン(▶▶)

停止/取出しボタン(■/▲)

一時停止ボタン(❚❚)

テープB

カセットぶた

一時停止ボタン(❚❚)

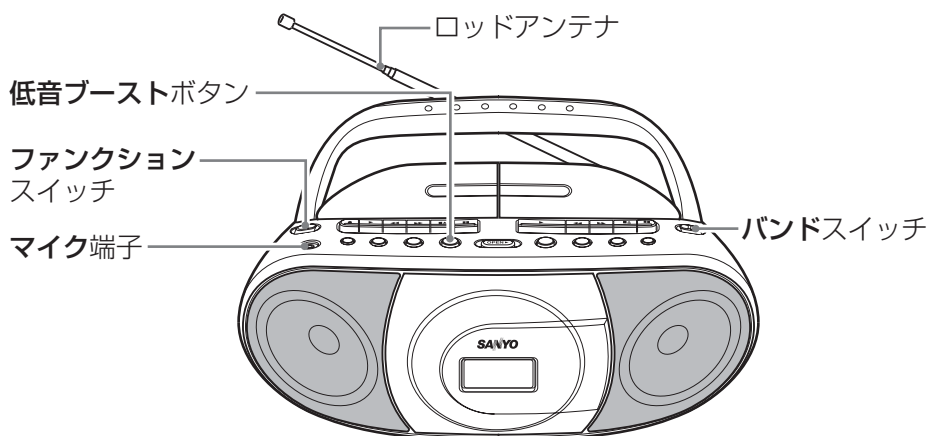
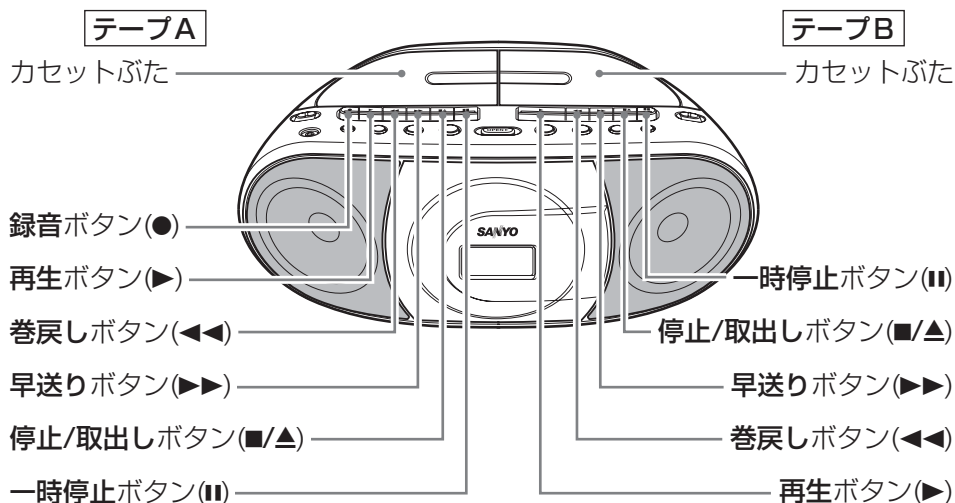
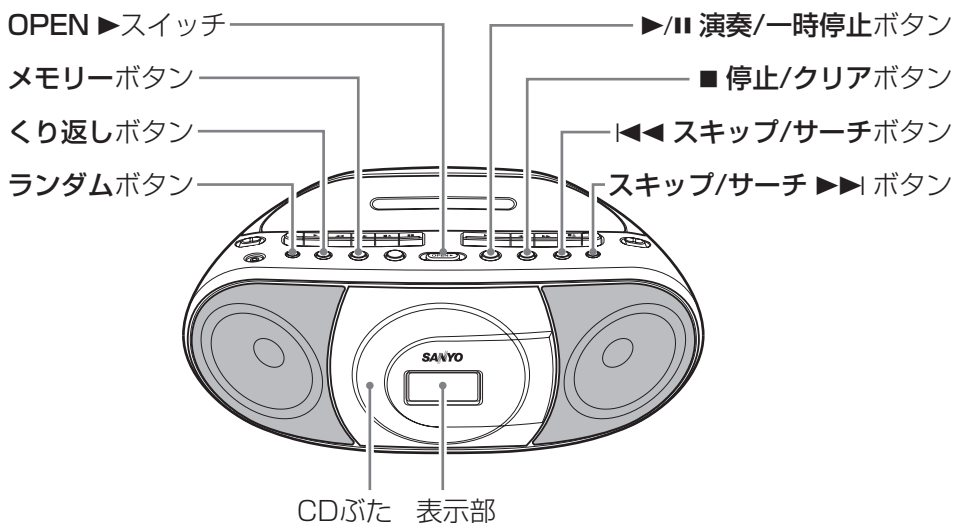
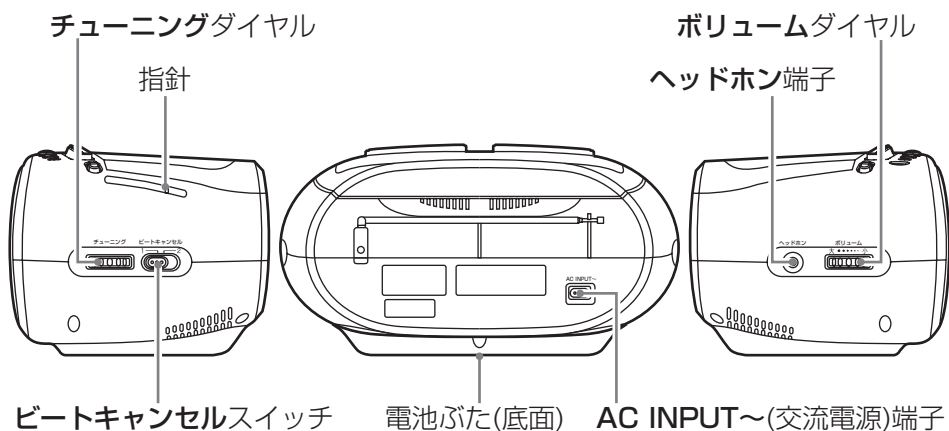
停止/取出しボタン(■/▲)

早送りボタン(▶▶)

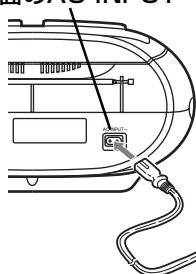
巻戻しボタン(◀◀)

再生ボタン(▶)

各部のなまえ

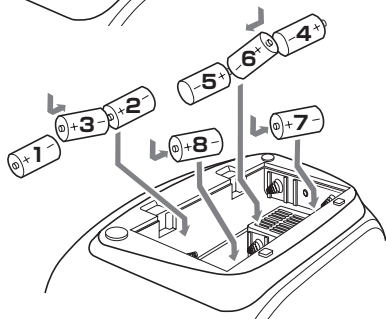
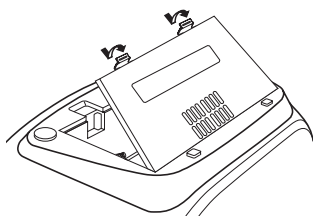
CD部

OPEN ►スイッチ
メモリーボタン
くり返しボタン
ランダムボタン
►/II 演奏/一時停止ボタン
■ 停止/クリアボタン
I◄◄ スキップ/サーチボタン
スキップ/サーチ ►►I ボタン
CDぶた
表示部

側面／背面

電源と接続について

AC電源でご使用の場合

1 背面のAC INPUT～端子へ

ご注意

電源コードを抜き差しするときは、**ファンクション**スイッチを「TAPE/電源 切」の位置にしてからおこなってください。先に電源を切らないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因となります。

乾電池でご使用の場合

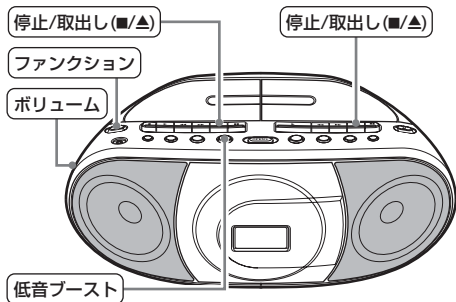
本機の底面にある電池ぶたを開けるときは、本機が傷つくのを防ぐためにあらかじめクッションなどを準備してください。そして、本機を裏返し電池ぶたを開け、別売の**単1形乾電池**8本を図のように入れ、ふたを閉めます。

- 極性(⊕と⊖)を間違えないように図に示す番号順に入れます。
- 電源コードが**AC INPUT～**端子に接続されていると、乾電池では動作しません。
- 長期間(1カ月以上)使用しない場合やAC電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

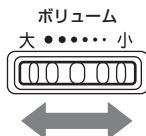
ちょっとこれを！

乾電池の交換時期は……

- 乾電池が消耗してくると次のような現象を生じます。
  - 音が小さい、ひずむ。
  - テープ速度が遅くなる。
  - ラジオは聞けるがCDやテープが正常に動作しない。
- 大切な録音やCD演奏をするときは、あらかじめ新しい乾電池に交換するかAC電源の使用をおすすめします。
- 近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

はじめに 準備

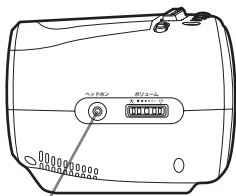
共通の操作

音量を調節する

ボリュームダイヤルを回す

重低音を強調する

低音ブーストボタンを押す「▬ 入」

「**切** ▬」にすると、もとの音質になります。

ヘッドホンで聞く

ミニプラグ付のステレオヘッドホンまたはイヤホン(市販)を左側面のヘッドホン端子に接続する

ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

聞き終えるときは

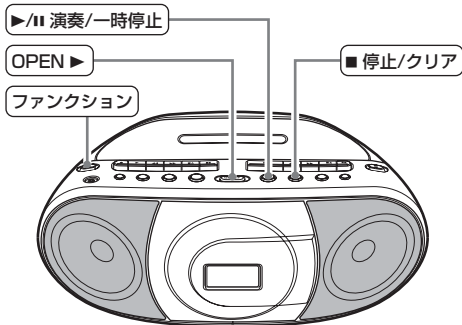
CD、ラジオ、マイクのとき:

ファンクションスイッチを「TAPE/電源 切」にする

カセットテープのとき:

動作中の場合は停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

CDを聞く

つづく

はじめてご使用になるときは、OPEN ► スイッチをスライドさせてCDぶたを開け、ディスクテーブルの上にある保護シートを取り出してください。

1 ファンクションスイッチを「CD」にする

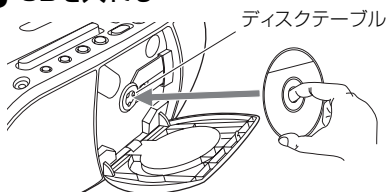
「- -」の点滅後

表示部のバックライトが点灯します。

- TAPEおよびラジオの場合は、バックライトは点灯しません。

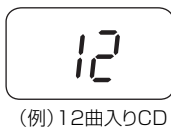
2 OPEN ► スイッチをスライドする

CDぶたが開きます。

3 CDを入れる

- 演奏面に触れないように持ち、レーベル(印刷)面を手前にしてディスクテーブルに正しくはめ込んで固定してください。
- 一度に2枚以上のCDを入れることはできません。

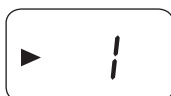
4 CDぶたを閉める

CDぶたの上部を押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。

CDが回転し、そのCDに入っている曲数が表示部に表示されます。

(例)12曲入りCD

5 ►/❚❚ 演奏/一時停止ボタンを押す

表示部に「►」が表示され、曲番1から演奏が始まります。

最後の曲が終わると自動的に止まります。

ご注意

- 演奏中に本機を動かしたり、CDぶたを開けたりしないでください。CDを傷つけてしまうことがあります。
- CDぶたを強く押さないでください。故障の原因となります。
- CDぶたの前に物を置かないでください。CDぶたが開くときに、物が倒れて破損やけがの原因となります。また、CDぶたの故障の原因となります。

演奏を途中で止めるには

■ 停止/クリアボタンを押す

演奏を一時的に止めるには

演奏中に ►/❚❚ 演奏/一時停止ボタンを押す

表示部の「►」表示が点滅します。

もう一度押すと再び演奏が始まります。

CDを取り出すには

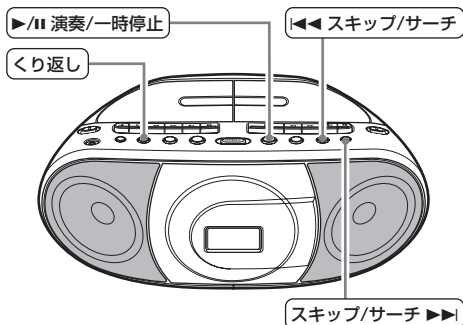
■ 停止/クリアボタンを押してCDの回転が完全に停止してから、OPEN ► スイッチをスライドする

ちょっとこれを!

マークの入ったCDをご使用ください。

- CDの裏表を逆に入れると「00」を表示し、演奏できません。
- CDに傷、指紋、ほこりなどがついていると演奏できないことがあります。
- MP3ファイル形式のディスクは演奏できません。
- VCD(ビデオCD)は演奏できません。

準備　聞きかた

CDを聞く

聞きたい曲から聞く

|◀◀ スキップ/サーチまたはスキップ/サーチ ▶▶| ボタンで、希望の曲番を選び、▶/II 演奏/一時停止ボタンを押す

曲の頭出し(スキップ)

演奏または一時停止中に |◀◀ スキップ/サーチまたはスキップ/サーチ ▶▶| ボタンを短くポンポンと押す

早送り、早戻し(サーチ)

演奏または一時停止中に |◀◀ スキップ/サーチまたはスキップ/サーチ ▶▶| ボタンを押し続け、希望のところで指を離す

ちょっとこれを!

- 一時停止中にスキップまたはサーチした場合は、音は聞こえません。**▶/II 演奏/一時停止**ボタンを押すと演奏が始まります。

演奏をくり返す(リピート演奏)

くり返しボタンを押す

CDの中の1曲だけまたは全曲をくり返し演奏します。

1曲だけをくり返し演奏するには

くり返しボタンを1度押す

「REPEAT」表示が点滅します。

全曲をくり返し演奏するには

くり返しボタンを2度押す

「REPEAT」表示が点灯します。

- 演奏前にくり返しを選んだときは、**▶/II 演奏/一時停止**ボタンを押して演奏を始めます。
- 解除するには**くり返し**ボタンを一度または二度押し、「REPEAT」表示を消します。

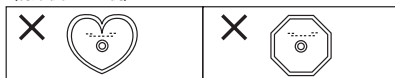
ちょっとこれを!

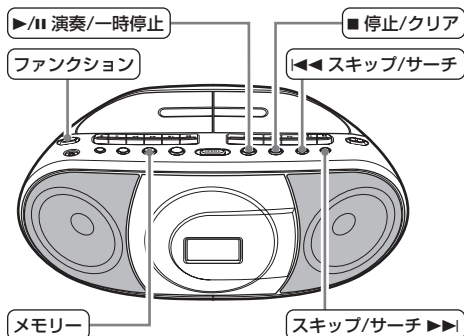
- **CD-R/RWディスクについて**
  本機では音楽を録音したCD-R/RWディスクを演奏することができますが、録音された環境や内容によっては演奏できないこともあります。
  未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。
- 本機ではCD-R/RWディスクに録音することはできません。

CDについてのご注意

- CDに紙やシールを貼らないでください。
  また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるCDは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

(特殊形状CDの例)

✕	✕

- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
  - ◆ 本機に強い衝撃を与えたとき。
  - ◆ 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
  - ◆ CDの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- コピーガード付きCD再生について
  CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないCD再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはCDの発売元にお問い合わせください。

つづく

お好みの曲を選んで聞く(プログラム演奏)

好みの曲を20ステップまで選んで演奏することができます。

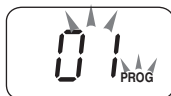
例えば次のようにプログラムする場合…

演奏順	曲番(トラックナンバー)
1番目	曲番3
2番目	曲番1

1 **ファンクションスイッチを「CD」にしてCDを入れる** P11

曲数が表示されたことを確認します。

2 **メモリーボタンを押す**

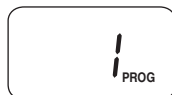
「PROG」表示と演奏順1番目の表示「01」が点滅します。

3 **|◄◄ スキップ/サーチまたはスキップ/サーチ ►►| ボタンをくり返し押して「3」を選ぶ**

曲番「3」を表示します。

4 **メモリーボタンを押す**

演奏順1番目に曲番3がプログラムされて、演奏順2番目の表示「02」が点滅します。

5 **|◄◄ スキップ/サーチまたはスキップ/サーチ ►►| ボタンをくり返し押して「1」を選ぶ**

曲番「1」を表示します。

6 **メモリーボタンを押す**

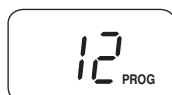
演奏順2番目に曲番1がプログラムされて、演奏順3番目の表示「03」が点滅します。

7 **►/❚❚ 演奏/一時停止ボタンを押す**

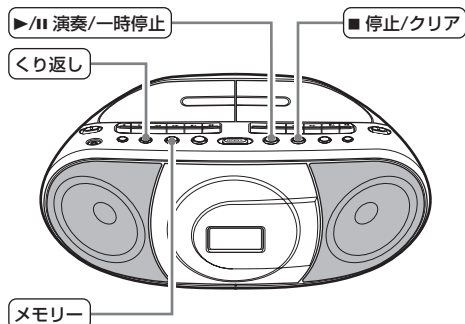
「►」表示が点灯し、プログラム演奏が始まります。プログラムした曲がすべて演奏されると停止します。

プログラム演奏を途中で止めるには

■ 停止/クリアボタンを押す

「PROG」表示が点灯したまま、そのCDに入っている曲数が表示されます。設定したプログラムは記録されています。

(例)12曲入りCD

ちょっとこれを!

- 20番目までプログラムすると、プログラムした曲番が順に表示されて、「01」表示が点滅します。21番目以上をプログラムすることはできません。

プログラムを取り消すには

停止時に、■ 停止/クリアボタンを押す

「PROG」表示が消え、そのCDに入っている曲数の表示になります。

- CDを交換したときやファンクションを切り換えたときもプログラムは取り消されます。

プログラムを確認するには

停止時に、メモリーボタンを押す

プログラムした曲番が順に表示されます。

プログラムの最後に曲を追加するには

1 停止時に、メモリーボタンを押す

プログラムした曲番が順に表示された後、「01」表示が点滅します。

2 メモリーボタンをくり返し押してプログラムした最後の演奏順(ステップ)を表示させる

3 もう一度メモリーボタンを押して、前ページの手順3〜4と同様に曲を追加する

プログラムを変更するには

1 停止時に、メモリーボタンを押す

プログラムした曲番が順に表示された後、「01」表示が点滅します。

2 メモリーボタンをくり返し押して変更したい演奏順を表示(点滅)させる

3 前ページの手順3〜4と同様に曲を変更する

ご注意

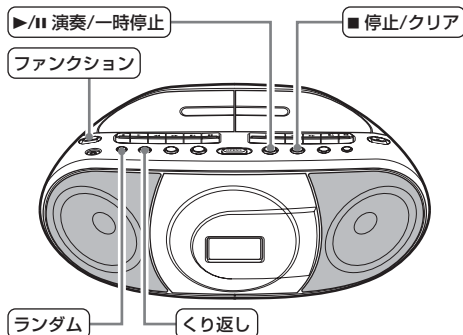
プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

プログラムをくり返し演奏する

プログラム演奏中の1曲またはプログラムした全曲をくり返し演奏することができます。

プログラム演奏中に、くり返しボタンを押す

- 詳しくは、「演奏をくり返す(リピート演奏)」P12 をご覧ください。

つづく

順不同に聞く(ランダム演奏)

自動的に曲順が選択されて、ランダムに再生することができます。

1 ファンクションスイッチを「CD」にしてCDを入れる P11

曲数が表示されたことを確認します。

2 ランダムボタンを押す

「RANDOM」表示が点灯します。

(例)12曲入りCD

3 ►/II 演奏/一時停止ボタンを押す

「►」表示が点灯し、ランダムに演奏が始まります。

ランダムにすべての曲が演奏されると停止します。

ランダム演奏を途中で止めるには

■ 停止/クリアボタンを押す

「RANDOM」表示が点灯したまま、そのCDに入っている曲数が表示されます。

ランダム演奏を取り消すには

ランダムボタンを押す

「RANDOM」表示が消えます。

ランダム演奏中に**ランダム**ボタンを押すと、ランダム演奏が取り消され、通常演奏に戻ります。

- CDを交換したときやファンクションを切り換えたときもランダムは取り消されます。

ランダムにくり返し演奏する

ランダム演奏中の1曲または全曲をランダムにくり返し演奏することができます。

ランダム演奏中に、くり返しボタンを押す

- 詳しくは、「演奏をくり返す(リピート演奏)」P12 をご覧ください。

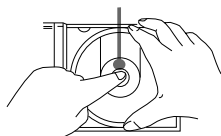
聞きかた

CDを聞く

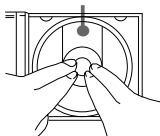
CDの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

出し方

センターホルダーを押さえ

演奏面に触れないように
持って出す。

入れ方

印刷面を上にして…

上から押さえて入れる。

ディスクの取扱いかた

- 演奏面には手を触れないでください。

CDの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- CDは必ずケースに入れて保管してください。

本機を持ち運びするときは

- CDを必ず取り出してください。
  入れたまま持ち運びすると、CDに傷をつけたり、故障の原因になります。

CDのお手入れのしかた

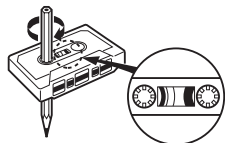
- CDについた指紋やほこりなどのよごれは、音質低下の原因となります。柔らかい布で、CDの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭き取ったあと、乾いた布でカラ拭きしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

カセットテープを再生・録音する前に

お使いになるカセットテープについて

- ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）をご使用ください。ハイポジション（TYPE Ⅱ）やメタル（TYPE Ⅳ）テープは再生できますがその特性を活かすことはできません。また、録音すると正しく録音・消去できませんのでご注意ください。
- ツメを折ったカセットテープでは、録音はできません。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、回転部に巻き込んだり、テープ走行が不安定になることがありますのでご使用にならないでください。
- エンドレステープは使用できません。

テープにたるみがあるときは…

たるみのあるテープは傷ついたり、切れる原因になります。また、巻き込んだりして故障の原因になります。テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。

- テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。
- リーダーテープ部を巻き取るときは、矢印方向に回してください。逆に回すと巻き込みの原因になります。

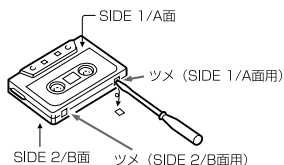
フルオートストップについて

本機はフルオートストップ機構をそなえておりますので、再生、録音、早送り、巻戻し中にテープが全部巻き取られると自動的にボタンが復帰して停止します。

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを確認してください。

録音したテープを誤って消さないために

カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。

誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさぐと録音できるテープに復元します。

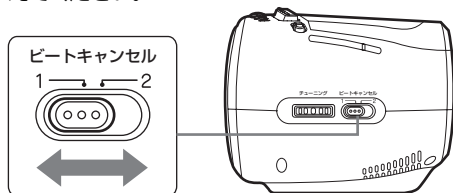
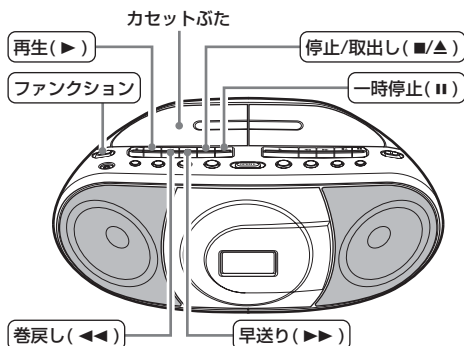
自動録音レベル調整について

本機には**ALC**（Automatic Level Control：自動録音レベル調整のこと）回路が内蔵されていますので、自動的に適正なレベルで録音されます。
ボリュームダイヤルを調整したり、**低音ブースト**ボタンで設定を切り換えても録音には影響しません。

カセットテープの保管について

ご使用後は所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、チリ、ホコリの多い場所やカビの発生しやすい場所はさけて保管してください。

録音中にビート音がでるときは

ラジオを録音中、ビート音（「ピー」という音）がでることがあります。
その場合には右側面の**ビートキャンセル**スイッチをビート音が小さくなる位置（1または2）に切り換えてください。

カセットテープを聞く

- **テープA**は録音･再生ができ、**テープB**は再生専用です。
- ここでは**テープA**側で説明します。

1 ファンクションスイッチを「TAPE/電源 切」にする

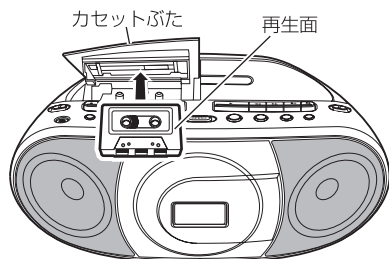
2 停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

カセットぶたが開きます。

ご注意

カセットテープを出し入れする前には、必ずハンドルを下げてください。

3 カセットテープを入れ、カセットぶたを閉める

カセットぶたはカチッと音がするまで確実に閉めてください。

カセットテープの入れかた

再生(または録音)する面を上側に向け、テープの露出している方を手前に、巻き取られている方を左にして入れます。

- テープのたるみがないことを確認してからカセットテープを入れてください。
- 録音するときは、頭切れをなくすため、あらかじめリーダーテープ部を巻き取っておいてください。P17

4 再生(▶)ボタンを押す

再生が始まります。

再生を途中で止めるには

停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

もう一度押すとカセットぶたが開きます。

ご注意

- 再生中に本機を動かしたりしないでください。テープを傷めたり、故障の原因となります。
- ハンドルを下げ、カセットぶたが完全に開いてから、テープを取り出してください。

一時停止する

再生中に一時停止(ıı)ボタンを押す

もう一度押すと再び再生が始まります。

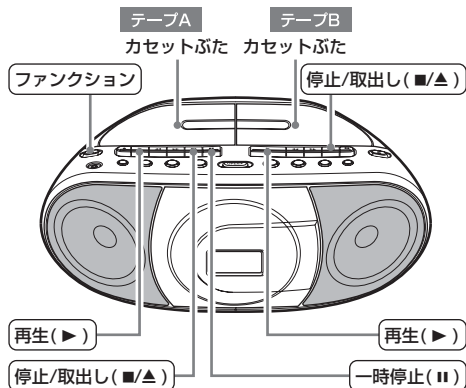
早送り、巻戻し

停止時に早送り(▶▶)または巻戻し(◀◀)ボタンを押す

お望みのところまで巻き取った後、**停止/取出し**(■/▲)ボタンを押します。

ちょっとこれを!

- 再生中や録音中に**早送り**(▶▶)または**巻戻し**(◀◀)ボタンを押した場合、すぐに早送り/巻き戻し機能に切り換わります。
- テープA側を再生中に、テープB側で早送り･巻戻しをしないでください。音質が低下することがあります。逆も同じです。

カセットテープを連続再生する(テープB ⇨ テープA)

● 2本のカセットテープの片面を続けて再生することができます。

1 ファンクションスイッチを「TAPE/電源 切」にする

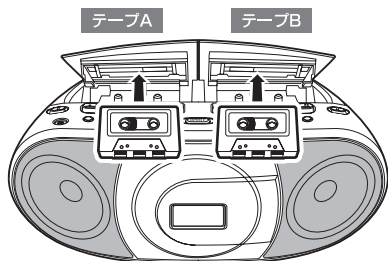
2 停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

カセットぶたが開きます。

ご注意

カセットテープを出し入れする前には、必ずハンドルを下げてください。

3 カセットテープを入れ、カセットぶたを閉める

テープBに最初に聞くカセットテープを、テープAに次に聞くカセットテープを入れます。

4 テープBの再生(▶)ボタンを押す

テープBの再生が始まります。

5 テープAの一時停止(II)ボタンを押す

6 テープAの再生(▶)ボタンを押す

テープAは待機状態になります。

再生を途中で止めるには

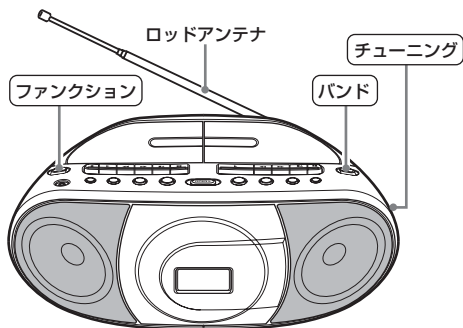
両方(テープAとテープB)の停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

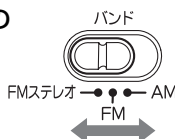
もう一度押すとカセットぶたが開きます。

ちょっとこれを!

● **テープB**の再生が終わると、**テープB**の**再生**(▶)ボタンと**テープA**の**一時停止**(II)ボタンが自動的に復帰し、今度は**テープA**の再生が始まります。**テープA**の再生が終わると、自動的に停止します。

聞きかた

ラジオを聞く

1 ファンクションスイッチを「ラジオ」にする

2 バンドスイッチで希望のバンドを選ぶ

3 チューニングダイヤルで希望の放送局に合わせる

ちょっとこれを！

- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- 受信状態は本機の設置場所によって変わります。

テレビの音声を聞く

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令として決定されています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聴くことはできません

本機のFMバンドでテレビの1～3チャンネルの音声を聞くことができます。

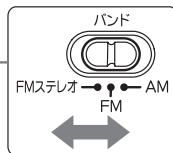
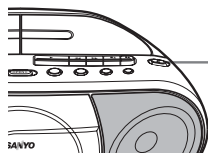
チューニングダイヤルで指針を 1 － 2 － 3 に合わせてください。

ちょっとこれを！

- ステレオ、音声多重にはなりません。
- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

FMステレオ放送の受信について

バンドスイッチを「FMステレオ」に切り換えておけばFMステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになります。

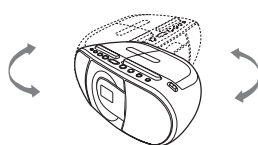
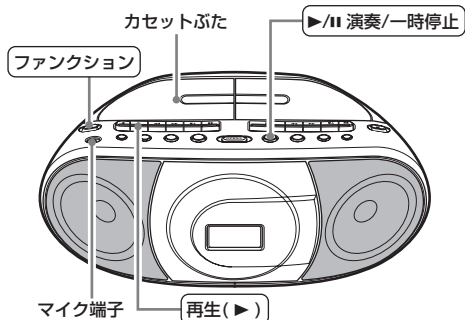
受信状態が悪く音声が聞きとりにくい場合は、**バンド**スイッチを「FM」に切り換えてください。ステレオになりませんが聞きやすくなります。

- AMステレオ放送には対応していません。

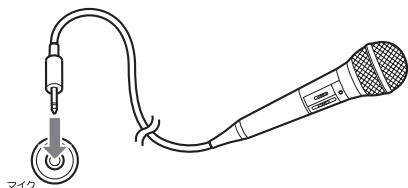
よりよい受信をするために

FM放送のとき

ロッドアンテナを伸ばし、もっともよく聞こえる方向に向けてください。

AM放送のとき

本体の向きを変えて、もっともよく聞こえるようにします。

マイクを使う

準　備

ミニプラグ付のマイク(市販)を上面のマイク端子に差し込む

- ご使用するマイクをお確かめください。電源供給が不要なダイナミックマイクは使えますが、電源供給を必要とするコンデンサーマイクは使用できません。

カセットテープとマイクを同時に使うには

1 ファンクションスイッチを「TAPE/電源 切」にしてカセットテープを入れる

→カセットテープを聞く P18

2 再生(▶)ボタンを押す

カセットテープの再生が始まり、マイクからの音声がテープ音声とともにスピーカーから流れます。

CDとマイクを同時に使うには

1 ファンクションスイッチを「CD」にしてCDを入れる

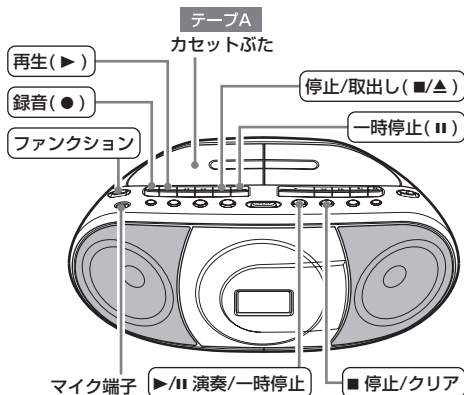
→CDを聞く P11

2 ▶/II 演奏/一時停止ボタンを押す

CDの演奏が始まり、マイクからの音声がCD音声とともにスピーカーから流れます。

ちょっとこれを!

- ファンクションが「CD」の場合、演奏中のみマイクが使えます。(一時停止中は使えません。)
- ファンクションが「TAPE/電源 切」の場合には、停止中はマイクが使えません。
- ファンクションを「ラジオ」に切り換えた場合もマイクを使用することができます。
- カラオケなどで使用する場合に、「マイク」「再生音楽」を個別に音量調整することはできません。
- マイクを使った音声の再生･録音はともにモノラルになります。
- 拡声器としてのご使用はできません。

カセットテープに録音する

● **テープA**を使います。

1 **停止/取出し(■/▲)ボタンを押してテープAのカセットぶたを開け、録音用カセットテープを入れる** P18

- 録音する面を上側に、テープが見える方を手前にして入れます。
- テープの途中から録音するときは、録音を開始する位置までテープを巻き取っておいてください。
- CDシンクロ録音をするときは、音楽CDの演奏時間よりも長めのカセットテープを用意しておきます。

2 **カセットぶたを閉める**

カセットぶたはカチッと音がするまで確実に閉めてください。

3 **ファンクションスイッチで録音するファンクションを選ぶ**

CDを録音するとき(CDシンクロ録音)

ファンクションスイッチを「CD」に切り換えて、CDを入れる。 P11

- 希望の曲から録音するときは、I◀◀ **スキップ/サーチ**または**スキップ/サーチ** ▶▶I ボタンを押して希望の曲番を選んでおきます。 P12
- 希望の曲だけを選んで録音するときは、プログラムをして「PROG」表示を点灯させておきます。 P13

ラジオを録音するとき

ファンクションスイッチを「ラジオ」に切り換えて、放送を受信する。 P20

CDの音と、マイク端子からの声を同時に録音するとき

ファンクションスイッチを「CD」に切り換えて、CDを入れる。 P11
市販マイクを**マイク**端子に差し込む。 P21

テープの音と、マイク端子からの声を同時に録音するとき

ファンクションスイッチを「TAPE/電源 切」に切り換えて、**テープB**に再生するカセットテープを入れ、テープを再生する。 P18
市販マイクを**マイク**端子に差し込む。 P21

マイクを使ってマイク端子から声だけを録音するとき

ファンクションスイッチを「TAPE/電源 切」に切り換えて、市販マイクを**マイク**端子に差し込む。 P21

4 **録音(●)ボタンを押す**

再生(▶)ボタンも同時にさがり、録音が始まります。

- **CDシンクロ録音**のときは、CDの演奏と同時に録音が始まります。
- CDの演奏中に**録音**(●)ボタンを押すと、録音はすぐに始まりますが、演奏中の曲は一時停止状態になり、無音が録音されます。その後、▶/II **演奏/一時停止**ボタンを押すと再び曲の演奏が始まりますので、曲の途中から録音を始めることができます。
- CDの一時停止中に**録音**(●)ボタンを押すと、曲の途中から録音を始めることができます。

録音を止めるには

テープAの停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

CDシンクロ録音のときは…

- **停止/取出し**(■/▲)ボタンを押すと、カセットデッキとCDは停止状態になります。
- テープが終端にくると、カセットデッキとCDは停止状態になります。
- CDのみを停止するには、■ **停止/クリア**ボタンを押してください。(カセットデッキは録音のままです。)

ちょっとこれを!

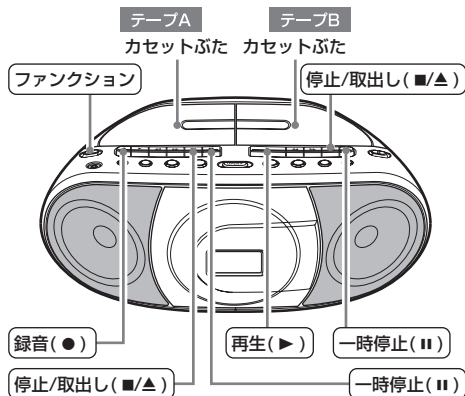
- 録音中にテープが終端までくるとテープは自動停止します。

録音を一時的に止める

録音中に一時停止(II)ボタンを押す

もう一度押すと再び録音が始まります。

カセットテープをダビングする（テープB ⇨ テープA）

テープA カセットぶた　テープB カセットぶた
ファンクション
停止/取出し（■/▲）
録音（●）
再生（▶）
一時停止（❚❚）
停止/取出し（■/▲）
一時停止（❚❚）

● **テープB**の再生と**テープA**の録音が同時にスタートします（シンクロダビング）。

準　備

テープBに再生するテープを、テープAに録音するカセットテープを入れる P19

● 再生・録音する面をそれぞれ上側に、テープが見える方を手前にして入れます。
● それぞれの希望のところを頭出ししておきます。
● カセットテープの始めからダビングするときは、それぞれのカセットテープを巻戻しておきます。

1 **ファンクションスイッチを「TAPE/電源 切」にする**

2 **テープAの一時停止（❚❚）ボタンを押す**

3 **テープAの録音（●）ボタンを押す**

再生（▶）ボタンも同時にさがり、録音待機状態になります。

4 **テープBの再生（▶）ボタンを押す**

テープAの**一時停止**（❚❚）ボタンが復帰し、ダビングが始まります。

ダビングを途中で止めるには

両方（テープAとテープB）の停止/取出し（■/▲）ボタンを押す

● カセットテープの始めから終わりまでダビングするときは、テープBが自動停止するまで待ちます。

ダビングを一時停止する

ダビング中にテープAまたはテープBの一時停止（❚❚）ボタンを押す

● **一時停止**（❚❚）ボタンを押した側のデッキのみ一時停止状態になります。

もう一度押すと再びダビングが始まります。

ダビング時、カセットテープの長さが異なる場合は次の様な動作になります

テープAがテープBより長い：

テープBが停止すると、ダビングは解除され、**テープA**は無音状態での録音を続けます。**テープA**の**停止/取出し**（■/▲）ボタンを押してください。

テープBがテープAより長い：

テープAが停止すると、ダビングは解除され、**テープB**は再生を続けます。

● 同じ銘柄の同じ録音時間のカセットテープでも長さに多少差があることがあります。

ちょっとこれを！

● **テープA**の録音用カセットテープは、**テープB**の再生側カセットテープと同じ長さ、またはそれ以上の長さのものをご用意ください。
● テレビなどの近くでダビングしますと、テレビなどの影響で、異常音がまじって録音されることがあります。このような場合は、テレビなどの電源を切るか、本機をテレビから離してください。

お手入れ

ピックアップ(光学レンズ)の清掃

レンズにゴミやほこりが付いて汚れますと、音とびが起きたり、演奏ができなくなる場合があります。
ほこりなどは、きれいな空気を吹き付けて除去してください。取りきれない汚れやちり、ほこりが付いた場合は、市販のレンズクリーナーを綿棒につけて軽く拭き取ってください。

ご注意

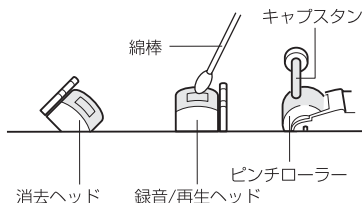
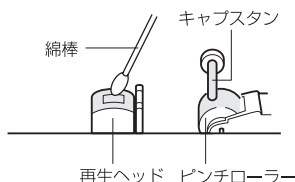
本機の近くでヘアースプレーや加湿器などを使用しないでください。レンズがくもる原因になります。

テープヘッド部の清掃

カセットテープを再生または録音すると･･･

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状がでた場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)をお買い求めのうえ、ヘッド部分を清掃してください。
清掃はできるだけ早い目(約10時間程度使用ごと)におこなってください。

テープA

テープB

停止/取出し(■/▲)ボタンを押してカセットぶたを開け、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラをふいてください。

ヘッドの消磁

長い間使用していると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。市販のイレーサ(消磁器)をお買い求めのうえ、定期的にヘッドの消磁をしてください。

本体のお手入れ

キャビネットや操作パネルのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

露つき(結露)のご注意

周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露(水滴)が発生することがあります。この状態では正常にCDを演奏できないことがあります。このような場合、CDを取り出し、使用される場所で約2時間放置した後、ご使用を開始してください。

録音
参考

故障？ その前にちょっとこれを

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

故　障　？	原　　因	処　　置
音がでない	● 電源プラグがはずれている ● 乾電池が消耗している ● 音量が小さく設定されている ● ヘッドホンが差し込まれている	● プラグを確実に差し込む ● 乾電池を交換する ● **ボリューム**ダイヤルを調節する ● ヘッドホンをはずす
CDプレーヤー部		
演奏がはじまらない	● CDが裏返しになっている ● CDが汚れている	● レーベル面を手前にして入れる ● 清掃する
音がとぶ	● CDに大きな傷やソリがある ● 振動する場所に設置している ● レンズが汚れている	● CDをとりかえる ● 振動のない場所に設置する ● 清掃する
カセットレコーダー部		
カセットが入らない カセットぶたが閉まらない	● カセットの向きが前後逆さまになっている	● テープの見えている方を手前にして入れる
テープが走行しない	● カセットテープの不良	● カセットテープをとりかえる
録音ボタンが押せない	● ツメの折れたカセットを装着している	● カセットテープをとりかえる ● 穴をセロハンテープなどでふさぐ
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	● ヘッド部が汚れている ● ハイポジションやメタルテープを使っている	● 清掃する ● ノーマルテープを使用する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	● 電波の受信状態が悪い ● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ● 選局がずれている	● 本機の設置場所を変える ● 電源コードを差し替える ● 本機を雑音源から離す ● テレビを消す ● アンテナを調節する ● 正しく選局する
マイク部		
ピー等の音が出る	● ハウリング（共鳴現象）がおきている	● 音量を下げる ● マイクを本機から離す

お願い

CDの演奏中に、表示や動作が異常になった場合は、**ファンクション**スイッチを一度「TAPE/電源 切」にして電源を切ったあと、再度「CD」にして操作しなおしてください。
長時間使用していますと、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

保証書とアフターサービス

つづく

保証書[裏表紙にあります]について

● この製品は保証書付きです。
お買い上げの際、販売店が発行しますので、所定事項をご記入ご確認のうえ内容をよくお読みになって大切に保管してください。

● 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

修理サービスについて

ご使用中に具合が悪くなったときは「故障？その前にちょっとこれを」P26 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 保証期間中は
保証書の記載内容により販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているときは
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。

● この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。

● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「お客さまご相談窓口」P29～32 にお問い合わせください。

● 転居される場合は
ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合には事前に販売店にご相談ください。

● ご贈答の場合は
最寄りの三洋販売店か、または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

必ずお読みください

本機の使用中、本機やカセットテープの不具合による録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。

2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機やカセットテープ使用中の不具合による録音内容(データ)損失や録音機会損失などの補償、また本機が使えなかったことによる付随的損害の補償については、その責任を負いかねますのでご容赦ください。
また、修理の際にデータ消去を伴う事故が発生した場合の補償についても、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると音質が損なわれます。きれいな音でお聞きいただくためには、使用環境(温度、湿度、ほこり)などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検(清掃、一部部品交換)されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を ！

このような症状はありませんか？

● 電源コードやプラグが異常に熱い
● コゲくさい臭いがする
● 電源コードに深いキズや変形がある
● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または 「お客さまご相談窓口」 にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」 P27 をご覧ください。

お客さまご相談窓口

つづく

■ まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 <三洋電機株式会社 お客さまセンター>

受付時間：(365 日) 9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は**大阪(06)-6994-9570**におかけください。
※ 郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機株式会社 お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX:大阪(06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日 ～ 金曜日 9:00 ～18:30
土曜・日曜・祝日・当社休日 9:00 ～17:30

修理相談窓口			
修理相談窓口	東コールセンター	関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
		北海道地区	050-3116-2333
		東北地区	050-3116-2444
	西コールセンター	近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
		中部地区	050-3116-2666
		中国地区	050-3116-2777
		九州地区	050-3116-2888

沖縄地区	098-944-5018

(※) 沖縄地区の受付時間:月曜日～土曜日 9:00 ～12:00、13:00 ～17:30
(日曜、祝日及び当社休日を除く)

持込み修理および部品についてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～17:30 (日曜、祝日を除く)

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点(サービスセンター、サービスステーション)で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■ 上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客様ご相談窓口

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

< 利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

< 業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談

北 海 道 地 区				
北海道	札幌サービスセンター	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
	旭川サービスステーション	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
	函館サービスステーション	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
	釧路サービスステーション	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
	北見サービスステーション	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14

東 北 地 区				
青森県	青森サービスステーション	(017)729-3401	〒030-0141	青森市上野字山辺29-5
岩手県	盛岡サービスセンター	(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-12-1
宮城県	仙台サービスセンター	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
秋田県	秋田サービスステーション	(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
山形県	山形サービスステーション	(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
福島県	郡山サービスステーション	(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120

関東・甲信越地区

茨城県	水戸サービスステーション	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
	つくばサービスステーション	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
栃木県	宇都宮サービスステーション	(028)614-3883	〒321-0111	宇都宮市川田町字免ノ内765-5
群馬県	伊勢崎サービスステーション	(0270)40-7611	〒372-0003	伊勢崎市華蔵寺町87-1
埼玉県	さいたまサービスセンター	(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
	坂戸サービスステーション	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
千葉県	千葉サービスセンター	(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
	鎌ヶ谷サービスステーション	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
東京都	武蔵野サービスセンター	(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
	城東サービスステーション	(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
	城北サービスステーション	(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ) 1-23-10
	城西サービスステーション	(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3-12-12 テック杉並
	相模原サービスステーション	(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
神奈川県	横浜サービスセンター	(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14

中部・北陸地区

新潟県	新潟サービスセンター	(025)285-2431	〒950-0942	新潟市中央区小張木2-16-43
山梨県	甲府サービスステーション	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23
富山県	富山サービスステーション	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
石川県	金沢サービスセンター	(076)292-2060	〒921-8005	金沢市間明町2-100
福井県	福井サービスステーション	(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
長野県	松本サービスステーション	(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
岐阜県	岐阜サービスステーション	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡県	静岡サービスセンター	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
	沼津サービスステーション	(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
	浜松サービスステーション	(053)461-8685	〒430-0812	浜松市南区本郷町123

近畿地区

愛知県	名古屋サービスセンター	(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
三重県	津サービスステーション	(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2
滋賀県	滋賀サービスステーション	(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
京都府	京都サービスセンター	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
大阪府	大阪サービスセンター	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南サービスステーション	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
	阪和サービスステーション	(072)221-8571	〒590-0026	堺市堺区向陵西町2-1-24
兵庫県	神戸サービスセンター	(078)641-1251	〒653-0038	神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
	阪神サービスステーション	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	姫路サービスステーション	(0792)82-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
	淡路サービスステーション	(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1
奈良県	奈良サービスステーション	(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
和歌山県	和歌山サービスステーション	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1

お客様ご相談窓口

中　国　地　区

鳥取県	鳥取サービスステーション	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
島根県	松江サービスステーション	(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
岡山県	岡山サービスセンター	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
広島県	広島サービスセンター	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町2-1-2
	福山サービスステーション	(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
山口県	山口サービスステーション	(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6

四　国　地　区

徳島県	徳島サービスステーション	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町 笹木野字八北開拓189-1
香川県	高松サービスセンター	(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町字片田1657-1
愛媛県	松山サービスステーション	(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町274
高知県	高知サービスステーション	(088)831-2570	〒780-8007	高知市仲田町6-12

九　州　地　区

福岡県	福岡サービスセンター	(092)928-3414	〒818-0061	筑紫野市紫6-1-1
	北九州サービスステーション	(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
長崎県	長崎サービスステーション	(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
熊本県	熊本サービスセンター	(096)388-3434	〒861-8045	熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
大分県	大分サービスステーション	(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6組
宮崎県	宮崎サービスステーション	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
鹿児島県	鹿児島サービスステーション	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

沖縄県	沖縄三洋販売株式会社 サービス部	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

(010407J)

☆ 住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

仕様

CD プレーヤー部

チャンネル数	2 チャンネル ステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
ピックアップ	半導体レーザー(波長 790nm)
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数範囲	20〜20,000Hz

テープレコーダー部

トラック方式	4 トラック、2 チャンネル ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	約110 秒 (C-60)
周波数範囲	80〜12,000Hz

ラジオ部

受信周波数	AM:522〜1,629kHz FM:76〜90MHz / TV:1〜3ch

共通部

出力	2.5W + 2.5W(JEITA/DC)
スピーカー	10cm コーン型 6Ω×2
入力端子	外部マイク端子　3.5φミニ×1
出力端子	ヘッドホン端子(ヘッドホン、ステレオミニジャック) 32Ω 3.5φミニ×1
電源	AC 100V、50/60Hz DC 12V　単1形乾電池×8本
消費電力	13W
電池持続時間	[三洋高性能アルカリ乾電池(Lタイプ)LR20(L)×8本使用時] 約16時間(JEITA・テープ再生時) 約25時間(JEITA・FM録音時) 約10時間(CD連続演奏時)
外形寸法	380(幅)×170(高さ)×230(奥行)mm (つまみ等の突起物含む。ハンドル含まず。)
質量	約2.9kg(乾電池含まず)
付属品	電源コード(コード長:約1.8m)

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令として決定されています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聴くことはできません

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は、下記の「総合相談窓口」へお問い合わせください。

相談受付時間

9:00～18:30 (365日)

総合相談窓口

050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は、
大阪(06)6994-9570におかけください。

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または29～32ページの修理相談窓口にお問い合わせください。

8651PH91LJP15
(JP5)

三洋電機株式会社

三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
家電事業部

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号